

やる気発生装置

小さな塾のなかに、大きな多様性が

世の中に数多くある塾のなかで、当塾はどのような塾に分類され、どんな立ち位置にあるのか。僕はそのことについて、考えない日はありません。けれども、これはなかなか難しい問題なんです。どの教科、学年でも見ているから何でも屋のようなどころがあるなかで、正直なところ塾としてのキャラクターがはっきり定まっていないのではないかと。良くも悪くも、そのことはずっと気にかかっています。

まず確かなのは、誰がどう見ても大規模塾ではない、ということです。いわゆる地元の小さな塾というところでしょう。そうであれば、デパートのようなことはせず、雑多なあれこれを切り捨てて、ひとつの分野に秀でた専門塾として特化すべきだ、というのが世間によくある塾論です。僕の知っている中でも、国語専門塾とか、医学部進学専門塾とか、あるいは勉強が苦手な子だけを対象にした専門塾とか、特定の分野の看板を掲げて成功している塾はたくさんあります。

さて、当塾はどうでしょう。いろいろな子がいます。名だたる進学校で頑張っている人もいれば、ハードな部活を続けながら何とか勉強しようとしている人もいます。机に向かうやいなや何時間でも集中できる子もいれば、なかなかスマホから離れられなかったり、朝なかなか起きられなかったりする子もいます。

この中からターゲットを絞り、どこかに特化した塾にしようか、と考えることもあります。でも結局、僕はこの多様性を大切にしたいという思いに落ち着くんです。狭い空間のなかにいろいろな子がいて、それぞれのスタイルで自分の課題に向き合って勉強している。実はそれこそがこの塾の特色なのではないかという結論にたどり着くわけです。

もちろん、こういう姿勢で勉強したら力がつくとか、そんなやり方はなかなか伸びないよ、ということは経験上いろいろあります。そこはこれからも伝えていきたいし、正しいやり方で勉強する人がきちんと伸びるような空間にもしていきたい。ただ、全員こうしなさい！という形にはしないでおこうと思っています。それぞれのスタイルで学び、生きている自分を認めること。そして、ほかの人のやり方も否定しないこと。そんな空気の中でこそ、しなやかな学力が育っていくのではないかと——今のところ、それが僕の考えです。



今日の京都は汗ばむような陽気に包まれて、鴨川の桜も開花がどんどん進む勢いようです。河川敷ではシートを広げて春を楽しむ人々の姿が多く見られました。

当面の教室予定

3/27(金)

16:00~22:00

3/28(土)

16:00~22:00

3/29(日)

16:00~21:00

3/30(月)~3/31(火)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。